

広報すぎなみ

Suginami



みどり豊かな 住まいのみやこ

{ 9/1 }
令和4年(2022年)
No.2336

新型コロナウイルスに関する
最新情報はこちらで
ご確認ください

区では、区ホームページやツイッターで、
随時情報をお伝えしています。



新型コロナウイルス
感染症情報
(区ホームページ)



杉並区公式ツイッター
(地震・水防情報等)
@suginami_tokyo

子どもの思いを尊重する

特集

子どもの可能性を伸ばす特別支援教育

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> 📰 発行: 杉並区 📝 編集: 広報課

お知らせ

新型コロナウイルスの感染状況によっては、本紙掲載の催し等が変更・延期または中止になる場合があります。
最新情報は、区ホームページまたは区(地震・水防情報等)ツイッターをご確認ください。

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。



子どもの可能性を伸ばす特別支援教育 一人ひとりの健やかな成長をめざして

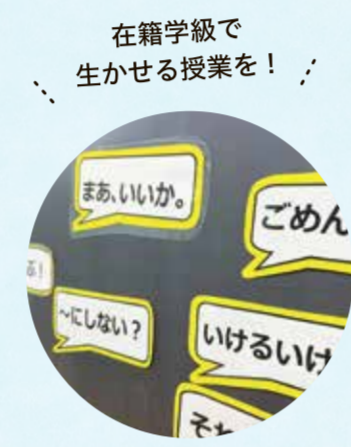
特別支援教育とは、障害のある子どもの自立と社会参加を見据え、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援を行う教育です。特別支援学校等だけではなく、特別な支援を必要とする子どもが在籍する全ての学校で実施されています。今号では、全区立小中学校に設置されている特別支援教室を中心に、区の特別支援教育について紹介します。

—問い合わせは、特別支援教育課 ☎5929-9481へ。

特別支援教室 (全区立小中学校)

困り事への支援の手だてや工夫を考え、日常生活に生かすことを教える

知的発達が遅れない発達障害や認知特性の課題がある児童・生徒が、自分の特性を理解し学校生活で力を発揮できるように、個々の課題に応じた指導を行う教室です。通常の学級に在籍しながら、決められた曜日に週1・2時間、同じ校内の特別支援教室で授業を受けます。



在籍学級で生かせる授業を!

週1・2時間特別支援教室で授業をします!



例えば 学校生活の中でよくある困り事ってどんなこと?



気持ちの切り替えが難しい

こだわりが強く、集団行動に乗り遅れてしまいます。その場の雰囲気や周囲の状況を察知して動くことが苦手で、急な予定の変更などにも慌ててしまい、対応できません。

不注意で気が散りやすい

先生の指示などに集中できず、間違いや忘れ物などをしてしまいます。整理整頓が苦手で、物の片付けができなかったり、失くしたりすることが多いです。

コミュニケーションが難しい

学習にはついていけても、聞く・話すなどのコミュニケーションが難しく、人前での発表などが苦手です。

他人との関わりがうまくいかない

他人との関わり方(相手との距離感や声のかけ方、タイミング等)が分らず、友達とトラブルになることが多いです。

具体的な指導例

本人の「こだわり」ポイントを、困り具合の程度によって整理し、どうしたら改善できるのか指導します。

こだわりが強くなったときの言葉を決めて口にするすることで、自分を落ち着かせたり、気持ちの折り合いを付けられたりできるようにします。

具体的な指導例

初めは一つの指示につき一つの作業を伝え、集中力が散満にならないよう指導します。そして徐々に数を増やし、正確に受け止められるようにしていきます。

近年は、タブレット端末のアプリを活用し、「何を」「どこに」「どのよう」に片付けるのかを考える力を身に付けます。

具体的な指導例

情報の整理や記憶の仕方の特性を個別指導の中で見極め、1対1の会話の練習を積み重ねます。

典型的な話の型に「相づち」や「うなずき」などを入れて、友達とやり取りするロールプレイ等を通じて、体験的に「伝える」スキルを身に付けます。

具体的な指導例

うまくいかない原因を探り、その上で本人が自覚し回避する方法を指導します。例えば、教室での座席の位置が気になると感じたら、変更を依頼できる力を身に付けます。

杉並区教育ビジョン2022

みんなのしあわせを創る杉並の教育

教育委員会では、4年度からおおむね10年程度を期間とし、私たちが大切にしたい教育として「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を掲げた「杉並区教育ビジョン2022」を策定しました。

「杉並区教育ビジョン2022」が発信するメッセージを踏まえ、特別支援教育では、関わる全ての人が自分事として捉えていくことをめざします。



杉並区教育ビジョン2022

共に尊重し、大切にしたいこと

- ☑ 学び合い、信頼をつくり、共に生きる
- ☑ ちがいを認め合い、自分らしく生きる
- ☑ 誰もが社会の創り手として生きる

特別支援学校 (済美養護学校)

都内で唯一の区立知的障害特別支援学校です。知的発達の遅れがあり言葉や文字による意思疎通が難しいなど、日常生活を送る上で頻りに援助を必要とする児童・生徒に対して、一人ひとりの障害の程度や状態に応じた、より専門性の高い指導・支援を行います。



より専門性の高い指導・支援を!

特別支援学級

(小学校10校・中学校6校)

比較的軽度な知的発達の遅れがあり、通常の学級における指導では十分に効果を上げることが難しい児童・生徒に対して、教材等に工夫をしながら少人数での指導を行います。居住地により指定された特別支援学級に在籍し、毎日通って学習をします。



教材等に工夫をしてきめ細やかな指導を!

難聴・言語障害通級指導学級

聞こえにくさによる学習の困難や、うまく発音できない、言葉が出るまでに時間がかかるなど、言語に課題がある児童・生徒に対して指導を行います。決められた曜日に週1・2時間、通級指導学級が設置されている学校に移動し、きこえやことばに特化した指導を受けます。

- 難聴通級指導学級「きこえの教室」(小中学校各1校)
- 言語障害通級指導学級「ことばの教室」(小学校3校)



きこえやことばに特化した指導を!

CHECK!

特別支援教育に関するより詳しい情報は...

特別支援教室や特別支援学校、特別支援学級などのより詳しい情報や、教育委員会発行のリーフレット等は区ホームページ(右2次元コード)に掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

